**各会議等の主な内容**

大阪堺大会の主な内容をご紹介します。参加者を決める際のご参考になさってください。

今後、内容の変更等があった場合は、「大阪堺大会第○報」の形でメール送信します。

**大会テーマ　　１０年後の向こうへ共生社会を届ける！**

**～今、改めて問う、情報提供施設に求められていること～**

**【１０月23日（木）】**

開会式、オリエンテーション、第50回大会記念式典（１２：３０～１３：３０）

厚生労働省講演（１３：３０～１４：２０）「第二期読書バリアフリー基本計画」（予定）

■全体会（１４：４０～１７：４０）

テーマ：「みんなで語って委員会 Re:10年ビジョン編」

内容：

全視情協では、2015年に「10年ビジョン会議委員会」が、当時の後藤理事長の強い思いにより発足し、全国から8名のメンバーが集まりました。約1年にわたる議論を経て、過去を振り返り、それぞれの現状を踏まえつつ、今後に向けた具体的なビジョンを策定しました。

今回は、その成果としてまとめられた報告書『2025年のわたしたちへ ― 全視情協10年ビジョン会議報告書』（2015年3月31日発行）をもとに、会場をテレビ番組『そこまで言って委員会NP』風に演出し、これまでの歩みを振り返りながら、現在の状況とこれからの展望について、本音で語り合い、共に考える場としたいと思います。

なお、報告書は、全視情協HPの会員専用ページ内で読むことができますので、事前にご一読ください。

<https://member.naiiv.net/?page_id=589>（会員ページ内）

コーディネーター（司会）：原田 敦史 氏（全視情協 副理事長）

登壇者：（10年ビジョン会議メンバー）

奥野 真里 氏（日本ライトハウス情報文化センター）

夏秋 圭助 氏（福岡点字図書館）

野々村 好三 氏（京都ライトハウス情報ステーション）

林田 茂 氏（日本ライトハウス情報文化センター）

御園 政光 氏（視覚障害者総合支援センターちば）

三井 貴浩 氏（徳島県立障がい者交流プラザ視聴覚障がい者支援センター）

**【１０月24日（金）】**

**分科会**（９：３０～１２：３０）

■第１分科会

担当：理事会、サービス委員会

対象：施設・団体長、ほか全職員

テーマ：「職員研修、できていますか？」

内容：

人材確保とその定着のために、各地の点字図書館でどのような取り組みが行われているでしょうか。

法人や施設の理念や使命を継承していくための研修の場はありますか？代替わりする専門職員間での技術の習得や地域のネットワークの引継ぎはどのように行われているでしょうか？

業務遂行能力の向上（法的な根拠に基づくサービス提供、効率的な事務、問題点の把握と解決等）を組織的にどうバックアップしたらよいか？視覚障害者情報提供施設での研修に関する事例発表と、職員アンケートから見えてきた課題を元に討議を行います。

事例発表：

久保田 文 氏（日本ライトハウス情報文化センター館長）

「日本ライトハウスにおける職員研修　～新人研修から、参加自由な各係の現場研修まで～」

法人の基本理念、視覚障害者福祉、各事業所の事業について学ぶ新人研修と、当館の職員なら誰でも参加できる館内研修を紹介し、当館の職員育成における現状と課題に触れる。

平田 清美 氏（徳島県立障がい者交流プラザ　視聴覚障がい者支援センター所長）

「安全・安心に働き続けることができる環境づくり」

人材育成基本方針に基づき、ニーズ等に応じた研修体制を推進し、職員が安全・安心に働き続けることができる環境づくりに努める。

職員アンケート調査報告

ディスカッション

■第２分科会

担当：点訳委員会

対象：点訳担当職員

テーマ：「点字に「魅力」という付加価値を！～「点訳」で醸し出す原本の味わい～」

内容：

私たちが手掛ける点訳図書は、原本あっての作業です。その原本は、カラフルなデザインの表紙だったり、書体やサイズの違うフォントを駆使して1ページごとに読み切りとしたり、場合によっては二つの話が表表紙・裏表紙からそれぞれ始まっていて逆さまにして読むなど、文体だけではなく、1冊の本を通して、さまざまな工夫が凝らされ、作者の個性や意図が色濃く主張されているものも少なくありません。

いっぽう点訳された図書は、さまざまな制約から、バインダーに綴じられた、非情に画一的な体裁となっています。ご存じのとおり、これを変えるのはほぼ不可能です。もちろん各施設・点訳者は、原本の特徴や面白さを点訳技術で伝える努力をしていることと思います。

今回の分科会では、原本自体が持つ「書籍としての魅力」を、読者として視覚障害当事者はどのようにとらえているのか、また点訳本として提供する側はどのように工夫しているのか、さらに取り組めることはないのか、と言ったことに焦点をあてます。

また、今年が点字考案200年に当たることから、点字そのものが持つ「魅力」についても、パネルディスカッションを通して皆様と改めて共有できればと考えています。

■第３分科会

担当　電子書籍委員会

対象　電子書籍担当職員等

テーマ：「テキストデイジー・マルチメディアデイジーの製作の違い、製作の疑問について　～みんなで考えよう！～」

内容：

１．テキストデイジー・マルチメディアデイジーの製作（PLEXTALK Producer）の違い

について　～それぞれの特長や製作方法はどう違う？～

２．テキストデイジー・マルチメディアデイジーデータ再生機器・ソフトウェア調査

プロジェクト最終報告　～再生機器類について知っておこう～

３．テキストデイジー製作の疑問について

職員による最終チェックのポイント

【グループワーク】こういう場合どうする？　テキストデイジー製作の疑問点

電子書籍委員会からの連絡

大会報告、宣言・決議、閉会（１３：３０～１５：００）

機器展示会（２４日）

ほか